

令和5年度 佐久総合病院看護専門学校 学校評価総括(自己点検・学校関係者評価)

1. 学校評価の目的

学校運営や教育活動について自己点検・自己評価を行い、その結果に基づいて自己改革を行うとともに、教育の質の向上を図り、学校の設置目的を達成するために行う。また学校関係者に報告し意見を聞き、その意見を尊重し、今後の教育活動と学校運営に取り組むために行う。

2. 定義

「自己点検・自己評価」とは、学校教育法の定めにより、本校職員が自ら学校状況について行う評価とする。
「学校関係者評価」とは、同法により「自己点検・自己評価」の結果を学校が選任する外部委員において、審議し決定された評価とする。

3. 教育目的

JA長野厚生連の看護の発展に寄与するために、人と人とのつながりを大切にできる愛情豊かな人間性を培い、看護師として日々研鑽に努めることができる有能な人材を育成する。

4. 学校評価日及び評価者

- 1)自己点検・自己評価日 令和6年5月23日実施
- 2)学校関係者評価日 令和6年7月25日実施
- 3)学校関係者評価者 JA長野厚生連本所 人事部部長 望月環
佐久総合病院 統括看護部長 細萱 信予 (敬称略)

5. 評価項目と結果 (評価基準 3:よく当てはまる 2:だいたい当てはまる 1:当てはまらない)

項目	自己点検	学校関係者評価結果	
I. 教育理念・教育目的	3.00	3.00	設置主体が求める看護師像を念頭に置き、教職員全員で理念・目的を理解し、運営に取り組んでいる。
II. 教育目標	3.00	3.00	学生自身の学年毎の評価を実施・分析し、教育や学生支援につなげている。
III. 教育課程経営	2.93	3.00	シラバスの検討会は実施しているが、決定機関の明文化が不明瞭にて業務分掌の見直しが必要である。
IV. 教授・学習・評価過程	3.00	3.00	カリキュラムの実施から評価までの過程を学生に説明し、継続学習できるよう支援している。講師への授業評価を実施しフィードバックすることで授業改革となっている。
V. 経営・管理過程	2.50	2.86	3ヵ年計画を立案し、運営会議にて審議する過程が構築できている。講師選定基準が明確に示されていないことが課題である。
VI. 入学	3.00	3.00	入学者の動向を分析し、入学生確保のための取り組み(広報・地域指定推薦枠)を積極的に取り入れている。
VII. 卒業・就職・進学	2.75	2.50	卒業直後の現状把握はできているが、卒業生の活動状況を追跡・把握し統計的な整理に課題がある。
VIII. 地域社会/国際交流	2.83	3.00	地域を知るために、本校の特徴である農村医学や病院で開催させる病院祭に参加している。
IX. 研究・研修	2.67	3.00	2例の研修報告会を実施し、教員の自己研鑽に努めている。教授活動について県の報告会にて発表する。

佐久総合病院看護専門学校 自己点検・自己評価票（令和5年度）

評価基準：よく当てはまる【3】、大体当てはまる【2】、当てはまらない【1】

カテゴリ	(下位項目)	評価内容	学校関係者 評価	自己評価
I 教育理念・教育目的		1 自養成所の教育上の特色を示し、かつ、法との整合性がある	3	3
		2 教育理念、教育目的は、学生にとって学修の指針になるように具体的に明示され、実際に指針となっている	3	3
		3 育成する看護師等の質を保证するために、どのような教育内容、教育方法、教育環境を整えようとしているのかについて述べている	3	3
		4 看護、看護学教育、学生観について、教師の教育活動の指針になるように明示され、実際に指針となっている	3	3
		5 卒業時点において育成する看護師等がどのような資質を有しているのか明示され、その資質が社会に対する看護の質を保证するのに妥当である	3	3
II 教育目標		1 教育理念・教育目的と教育目標が一貫している	3	3
		2 教育目標は、設定した教育内容を網羅し、かつ最上位の目標として、教育活動のゴールが読み取れるものとして示している	3	3
		3 教育目標において、目標内容と到達レベルが対応し、具体的で実現可能な目標として明示している	3	3
		4 看護実践者としての能力を育成する側面と、学習者としての成長を促すための側面から教育目標を設定している	3	3
		5 卒業後の継続教育の考え方を示した上で、看護基礎教育として教育目標を設定している	3	3
III 教育課程経営	教育課程編成者の活動	1 教育課程編成者と教職員全体は、教育課程と授業実践、教育評価の関連性を明確に理解した上で、教育理念・教育目的の達成に向けて一貫した活動を行っている	3	3
	教育課程編成の考え方とその具体的な構成	1 看護学の内容、求める学修の到達および学生の成長について明確な考え方と根拠をもって教育課程を編成している	3	3
	科目、単元構成	1 科目と単元の構成にあたって、明確な考えと根拠があり、その考え方は教育理念・教育目的、教育目標との整合性がある	3	3
		2 構成された科目と単元は看護師等を養成するのに妥当であり、かつ養成所の特徴をあらわしている	3	3
	教育計画	1 単位履修の方法とその制約について、教師・学生の双方がわかるように明示し、その方法は学生の単位履修の支援となっている	3	3
		2 単位履修制の考え方を踏まえつつ、看護師等になるための学修の質を維持できるように科目の配列をしている	3	3
	教育課程評価の体系	1 単位認定の基準および方法は、看護師等に必要な学修を認めるものとして十分に根拠があり、また妥当である	3	3
		2 他の高等教育機関と単位互換が可能な体制を整えている	3	3
		3 教育課程を評価する体系が整っており、また、結果の活用においての倫理規定が明確になっている	3	3
	教員の教育・研究活動の充実	1 教員の担当科目や担当時間数は、専門性を発揮できるように配分し、かつ、授業の準備をする時間がとれる体制を整えている	3	3
		2 教育課程の実践者である教員が、自ら成長できるための自己研鑽、相互研鑽のシステムを整えている	3	2
	学生の看護実践体験の保障	1 随地実習施設は、養成所の教育理念、教育目的、教育目標を理解し、学生の看護実践の学習を支援する体制を整えている	3	3
		2 随地実習指導における学生の学びを保障するために、随地実習指導者と教員がそれぞれの役割を明確にし、協働体制を整えている	3	3
		3 学生からケアを受ける対象者の権利を尊重するための考え方を明示し、学生への指導を計画的に行っている	3	3
		4 随地実習において学生が関係する事故を把握、分析し、安全教育、安全対策を計画的に行っている	3	3
	IV 教授・学習・評価過程	・授業内容と教育課程との一貫性 ・看護学としての妥当性 ・授業内容間の関連と発展	1 当該授業の内容は、教育課程との関係において当該学生のための授業内容として設定している	3
2 授業内容のまとまりの考え方は、科目目標との整合性を踏まえて明確に述べている			3	3
3 授業内容のまとまりは、看護学の教育内容として妥当性がある内容となっている			3	3
4 当該授業の内容と他の授業内容との関連において、重複や整合性、発展性等について明確になっている			3	3
授業の展開過程		1 授業内容に応じた授業形態（講義、演習、実験、実習）を選択している	3	3
		2 授業展開に用いる指導技術についての考え方を授業計画等に明示し、実践している	3	3
		3 当該授業の展開過程の他に、学生の学習が深化、発展するための方法を意図的に選択し、学習を支援している	3	3
		4 学生に対し効果的な教育・指導を行うために、教員間の協力体制が明確になっている	3	3
目標達成の評価とフィードバック		1 評価計画を立案、実施し、評価結果に基づいて実際に授業を改善している	3	3
		2 学生および教育活動を多面的に評価するために、多様な評価の方法を取り入れ、目標の達成状況を明確にとらえている	3	3
		3 評価の方法について、特に単位認定のための評価については、学生に公表（認定基準等）し、公平性がある	3	3
学習への動機づけと支援		1 シラバスの提示や学習への指導は、養成所全体としての一貫性をもち、学生の学習への動機づけや支援になっている	3	3

カテゴリ	(下位項目)	評価内容	学校関係者評価	自己評価
V 経営・管理過程	設置者の意思・指針	1 養成所の設置、教育理念、教育目的、教育課程経営、教育評価、および養成所の管理運営に関する管理者の考え方について、設置者の意思との一貫性をもって明示し、かつ教職員は理解している	3	3
	組織体制	1 組織体制は養成所の教育理念・教育目的を達成するために意思決定のシステムや権限、役割機能が明確であり、かつ組織構成員の意思の反映や決定事項を周知できるように整えている	3	2
		2 組織の構成と教職員の任用、および、教職員の資質の向上についての考え方と対策は教育理念・教育目的を達成するために整合性をもってしている	2	2
	財政基盤	1 養成所の財政基盤をどのように確保しようとしているかについて明確な考え方をもち、学習・教育の質の維持・向上につながるようになっている	3	2
		2 教職員は、養成所がどのような財政基盤によって成り立っているかを理解し、それぞれの観点から財政についての意見を経営・管理過程に反映できるようにしている	3	2
	施設設備の整備	1 学習・教育環境について、管理者としてどのような考え方をもって整備しようとしているかを示し、その考え方に基づいて整備計画を立案し、実施している	3	2
		2 看護の専門職教育に必要な施設設備を計画的に整備し、また、医療・看護の発展や学生層の変化にあわせて、整備・改善できるようにしている	3	3
		3 学生および教職員にとつての福利厚生施設設備は、養成所が設置されている地域環境との関連から検討し、学生生活や教職員の職務が円滑に遂行できるように整備している	3	3
	学生生活の支援	1 学生が入学後に学修を継続できる支援体制を多角的に、かつ学生が活用しやすいように整え、実際に学生生活の支援になっている	3	3
	養成所に関する情報提供	1 教育・学習活動に関する関係者(保護者等)への情報提供を行うことによって、その協力・支援を得ている	3	3
2 広報活動は、看護師等を養成する機関として、その存在を十分にアピールし、かつ社会的説明責任を果たす内容と方法になっている		3	3	
養成所の運営計画と将来構想	1 養成所の運営は明確な将来構想の基に、運営の中・長期計画、短期計画、年間計画を立案し、その実施・評価は将来構想との整合性をもってしている	3	3	
自己点検・自己評価体制	1 自己点検・自己評価の意味と目的を理解し、実際に自己点検・自己評価を行うための知識と方法を明確に持っている	3	2	
	2 養成所の自己点検・自己評価体制を整え、運用し、その機能を養成所のカリキュラム運営、授業実践にフィードバックし、養成所の教育理念、教育目的、教育目標を維持・改善するものとなっている	2	2	
VI 入学	1 教育理念・教育目的との一貫性から入学者選抜についての考え方を述べている	3	3	
	2 入学者状況、入学者の推移について、入学者選抜方法の妥当性及び教育効果の視点から分析し、検証している	3	3	
VII 卒業・就職・進学	1 卒業時の到達状況を捉える方法が明確であり、それを計画的に行っている	3	3	
	2 卒業生の到達状況、就職、進学状況を分析した結果は、教育理念・教育目標と整合性がある	2	2	
	3 卒業生の就職先での評価を把握し、問題を明確にし、教育を改善するために、就職先との情報交換や調査の実施等ができる体制を整えている	3	3	
	4 卒業生の活動状況を把握し、統計的に整理し、教育理念、教育目標、授業の展開に活用している	2	3	
VIII 地域社会／国際交流	地域社会	1 社会との連携に向けて、地域のニーズを把握し、看護教育活動を通して地域社会への貢献を組織的に行っている	3	3
		2 養成所の教育活動について、地域社会のニーズを把握する手段、養成所から地域社会へ情報を発信する手段を持っている	3	3
		3 地域の特徴を把握し、地域内における諸資源を養成所の学習・教育活動に取り入れている	3	3
	国際交流	1 国際的視野を広げるための授業科目を設定している	3	3
		2 国際的視野を広げるための自己学習に適した環境を整えている	3	2
		3 留学や海外において看護職に就くこと等を希望する学生に対応できる体制がある	3	3
IX 研究・研修	1 教員の研修・研究活動を保障(時間的、財政的、環境的)している	3	3	
	2 教員の研修・研究活動を助言・検討する体制が整っている	3	3	
	3 研修・研究に価値をおき、研修・研究活動を教員相互で支援し合う文化的素地が養成所にある	3	2	

令和5年度評価結果

